

※漢字については「読み」の答えが「書き」、「書き」の答えが「読み」になっています。

国語 六一 (書き)	第六学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにもきをつけましょう。

① □の□の□を□で□。

② □の□な□を□。

③ □の□を□て□も
ひとしおだ。

④ □の□に□を□。

⑤ □の□を□にする。

国語 六―二 (書き)	第六学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① ぎょうちゅう うち あける
を

② こんなん まけ しごと なし
に ず、 を と

げる。

③ よてい こまる
より の が て

④ てんのう こうごう りようへいか かいがい
ほうもん えんき の へのこ

が になる。

⑤ きぼう むね
を にがんばろう。

国語 六―三 (書き)	第六学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① □の□の□が□に
えらばれる。

② □の□をていねいに□。
きぬいとまく

③ □の□の□を□。
きんむさぎかいしゃえんかくしらべる

④ □た□を□する。
やぶれえまきものしゅうふく

⑤ □に□□に□。
かわぞいあるまちこうばつとめる

⑥ □の□を□□。
ものがたりじょうかんよみおえる

国語 六―四 (書き)	第六学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番	取り組んだ日 月 日
-------------------	--------------	----	---	---	---	---------------

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① □ せん たく □ もの を □ ほし てから □ つくえ の □ うえ を
せいり する。

② □ げきじよう の □ うらぐち を □ けいび する。

③ □ おんし のはげましの □ ことば に □ かんげき する。

④ □ ふる やまぞい の □ ちいき に □ はげしい あめ が
○

⑤ □ かんまん の □ さ が □ おおきい ○

次のぶんの□に当てはまる漢字を書きましよう。送りがなにもきをつけましよう。

① □いこく への □たび は □きちよう な □けいけん である。

② □こと なる □ぶんか を □りかい するのは □かんたん

ではない。

③ □ほね が □おれ 、 □いたみ で □こきゆう もできない。

④ □せんせい から □しよくいんしつ に □よば れる。

⑤ □てっこつづくり の □たてもの 。

⑥ □きよらか な □くうき を □むね いっぱいに

□すう 。

つぎ ぶん
次の文の□に当てはまる漢字かんじを書きましよう。か
おく
送りがなにも気きをつけましよう。

① すなば
で
あな
をほる。

② ないかくそうりだいじん
の
しじ
に
したかう
。

③ さぎん
を
みつける
。

④ にほんこくけんぽう
に
かん
する
いつきつ
の
ほん

を
よむ
。

⑤ しゆくん
と
けらい
が
しゆじゆうかんけい
を
むすぶ
。

国語 六―七 (書き)	第六がく年の漢字(書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① おやこうこう
をする。

② きびしい
げんじつ
をしる。

③ ていしゅつきげん
げんしゅ
をする。

④ こうよう
が
うつくしい
きせつ
になる。

⑤ だいがくせい
になった
あね
が
くちべに
をつかう。

国語 六―八 (書き)	第六学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① □の□があちこちにあって

□だ。

② □のあら□を□する。

③ □に□が□。

④ □あぶない□ばしょに□づいてはいけない。

⑤ □は□で□しまった
□だ。

国語 六―九 (書き)	第六学年の漢じ(書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢じを書きましよう。
送りがなにも氣をつけましよう。

① じ だつ じ ちゅうい する。

② ことば つかいかた を あやまる。

③ ぎもん かいけつ する。

④ ともだち うたがう ことはしない。

⑤ ちようしよく かんたん に すます。

こく語 六十一 (書き)	第六学ねんの漢字(書き)	名前	ねん	組	番
--------------------	--------------	----	----	---	---

次の文の□にあてはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① きせつはずれ の しょうひん を ごわりびき で

うる。

② こっかい の かいき を のぼす。

③ ボールが あたり まど ガラスが
われる。

④ お としだま を りょうしん に あずける。

⑤ けんりよく を こうし する。

⑥ よぎんつうちょう を だいじ に かんり する。

国語 六十一 (書き)	第六学年の漢字 (書き)	名まえ	年	組	番	取り組んだ日 月	日
-------------------	--------------	-----	---	---	---	-------------	---

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① どんよりとしたの、にもが
ふりだし そうな
はいいろ いま あめ

② ではが
よほう こうすいかくりつ たかい

③ なを
だいきぼ こうじ けいかく

④ を
みず きょうぎゅう
するシステムを
せいび

⑤ にを
ぼぜん はな そなえる

⑥ たちがバスから
こども おりる

国語 六十三 (書き)	第六学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
取り組んだひ 月 にち					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① □_{かいぎ}を□_{かいし}する□_{じこく}になった。

② トラックから□_{にもつ}を□_{おろす}。

③ あの□_ひのできごとを□_{はっしやう}に□_{きやうめい}。

④ □_{いまつ}ている□_{ひとびと}を□_{きゆうぎやう}する。

⑤ にぎやかな□_{しやうくじ}が□_{すむ}。

こく語 六十四 (書き)	第六学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
--------------------	--------------	----	---	---	---

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① □から□が□に
しょうがいこく かんこうきやく おんせんち

やってくる。

② □の□みかんがすっかり□した。
こうてい なつ じゆく

③ □がわき□。
つめたい みず てる いずみ

④ □が□で□された。
ほうあん しゅうぎいん かけつ

⑤ □の□は□と□。
おりもの あらう ちぢむ

⑥ □を□、□を□
こうりつか すすめ ちぎようじかん

□する。
たんしゆく

国語 六―十五 (書き)	第六学年の漢字 (書き)	名まえ	年	組	番	取り組んだ日 月 日
--------------------	--------------	-----	---	---	---	------------------

つぎ ぶん
次の文の□に当てはまる漢字かんじを書きましか
送りがなにも気をつけましょう。

① ユネスコの が を 。

② では、 のまゆを かくする。

③ として を たのち、
かんとくに した。

④ な が される。

⑤ を がける。

国語 六十一 (書き)	第六学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① □の□を□。
まど すんぽう はかる

② □に□□がけが□から
すいちよく きり たつ しゃそう

③ □なとう□が□て□が
りつぱ じき われ みず

□。
たれる

④ □を□した。
きずぐち おうきゆうしうち

⑤ □の□ミスを□。
きかい そうご ふせぐ

⑥ □にあったが、□にも□で
すん じこ さいわい けいしやう

□だ。
すん

国語 六十七 (書き)	第六学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① □ あんぜんそうち □ がいぞう □ が □ さいれた □ きかい □ を

□ かいはつ □ する。

② □ もう □ わすれもの □ はしないと □ せんげん □ した。

③ □ ゆうじん □ の □ せいじつ □ な □ たいど □ に □ こころ □ が □ あらわ

れた。

④ □ せん □ たく □ き □ が □ こしょう □ した。

⑤ □ ゆうじん □ の □ いけん □ を □ しりぞける □ 。

⑥ □ ふくつう □ で □ そうたい □ する。

こく語 六十八 (書き)	第六学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① やちん
を
おさめる
ため
おおや
の
いえ
を
たずねる
。

② めの
をどの
いろ
で
そめる
か
けんとう
する。

③ もの
の
けいとうせい
について
かんがえる
。

④ どうめいこく
を
ほうもん
する。

⑤ こくみん
には
のうぜい
の
ぎむ
がある。

国語 六十九 (書き)	第六学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次のぶんの□に当てはまる漢字を書きましよう。送りがなにも気をつけましよう。

① あたらしい ぶんか を つくる のは わかもの た

ちだ。

② かれは どくそうてき な えんそう をする。

③ ながい かいだん を ふたん に かん じる。

④ たいかい へ さんか が みとめ られる。

⑤ あの はいゆう は えんぎ が じょうず だ。

こく語 六―二十 (書き)	第六学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
---------------------	--------------	----	---	---	---

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① □の□は□だ。
あね こうぶつ たまごりようり

② □には□の□がある。
せかい おおく しゅうきよう

③ □の□は□にしておこう。
さくばん こと ひみつ

④ □で□の□が□
こっかい やとう ぎいん そうりだいじん

に
□する。
しつもん

⑤ □にある□の□を
とうきようと ちようしゃ ばしよ

□。
たしかめる

⑥ □は□です。
しゅうち

国語 六―二十一 (書き)	第六学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
取り組んだひ 月 にち					

つぎ ぶん
次の文の □ に 当てはまる 漢字 を 書き ませう。
送りが にも 気 を つけ ませう。

①
じゅうらい
むずかしい
の やり □ を □
かた
か い ぜん
する ことは

②
こんなん
どりよく
な □
も ん だ い
だ が □
か い け つ
に □
む け
て

③
ちそう
に □
きょうみ
が ある。

④
たんじょうび
に □
は な
が □
と ど く
よう に □
て は い

した。

⑤
はいく
の □
ざっし
を □
か う
。

国語 六十二 (書き)	第六学年の漢字（書き）	名まえ	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① 人づかひのうちはようじききゆうそく
はったつする。

② おきないこども
たちをまえにしてろうどく
おこなう。

③ ほうりつ
のべんきよう
をする。

④ まいあざ
うし
のちち
をしぼる。

⑤ コーヒーにぎゆうにゆう
とさとう
をいれる。

国語 六―二十三 (書き)	第六学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
取り組んだひ 月 日にち					

つぎ ぶん
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
おく
送りがなにも気をつけましょう。

①

ともだち	と	せなか	を	あわせ	て	せいぐらべ
------	---	-----	---	-----	---	-------

をする。

②

なみき	すぎ	の	はいご	に	さんちよう	が	みえる
-----	----	---	-----	---	-------	---	-----

③

やま	の	いただき	から	ひので	を	おがむ
----	---	------	----	-----	---	-----

④

すいりしようせつ	の	ほん	を	いただく
----------	---	----	---	------

⑤

じたく	は	ゆうびんきよく	の	ならび	に	ある
-----	---	---------	---	-----	---	----

⑥

ちち	の	ひやかじてん	を	はいしゃく	する。
----	---	--------	---	-------	-----

国語 六―二十四 (書き)	第六学年の漢字 (書き)	前 年 組 番	取り組んだ日 月 日
---------------------	--------------	------------------	------------------

つぎ ぶん
次の文の□に当てはまる漢字かんじを書きましか
送りがなにもきをつけましょう。

① 江戸えど ばくふ の しやだい しょうぐん は徳川家康だ。とくがわいえやす

② べんろんたいかい が まく を あける。

③ しよめい を あつめる ため、 ふんき した。

④ ゆうき を ふるう。

⑤ じゃくてん を おぎなう ため、 せんしゆ を ほきよう

する。

⑥ こうえん の じゆもく をながめる。

国語 六―二十五 (書き)	第六学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① ごみ□に、ごみを□。

② □を□して□する。

③ □は□□□□□を□

□だ。

④ □を□している。

⑤ かれの□は□□□□□になること

だ。

⑥ □で□□□□□がらを□。

国語 六―二十六 (書き)	第六学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① あさばん、かわぞいの□を□。

② へいわの□さを□した。

③ やまの□で□を□。

④ いちまいの□が、せんぞの□た

かほう
だ。

⑤ ひこうきの□の□が□の□だ。

国語 六―二十七 (書き)	第六学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
取り組んだひ 月 にち					

つぎ ぶん
次の文の □ に当てはまる漢字かんじを書きましか
送りがなにも気きをつけましょう。

① ひはん
のべる
を
しょうち
で
こんご
の
ほうしん
を

② ちゅうしゃ
の
はり
を
みる
のが
にがて
だ。

③ ひ
が
くれ
たので
しょうめい
をつける。

④ あに
は
さいきん
、
ひとりぐらし
を
はじめ
た。

⑤ まと
に
むけ
て
や
を
いる
。

⑥ ていあん
に
たい
して
ひていてき
な
いけん
が

でる
。

国語 六―二十八 (書き)	第六学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
---------------------	--------------	----	---	---	---

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① □^{たて}と□^{よこ}の□^{ながさ}から□^{めんせき}を

□^{もとめる}。

② その□^{さつか}の□^{ちよさく}を□^{たすう}□^{ほぞん}して

いる。

③ □^がの□^{こてん}に□^{おおく}の□^{ひと}が□^{らいほう}

した。

④ いつか□^{ひこうき}を□^{そうじゆう}してみたい。

⑤ □^{かいしや}の□^{そんぼう}をかけた□^{しょうひん}を□^{かいはつ}

する。

⑥ ほ□^{にゆうるい}のイルカは□^{はい}で□^{こぎゆう}する。

国語 六―二十九 (書き)	第六学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
取り組んだひ 月 にち					

つぎ ぶん
次の文の □ に当てはまる漢字を書きましよう。
おく き
送りがなにも気をつけましよう。

①
しろ
□ の □ いしだん
を □ のぼつ
た □ よくじつ
は □ あし
□ が
いたかつ
た。

②
びよういん
□ で □ ないぞう
の □ けんさ
を □ うける
。

③
たいふう
□ のため □ いたる
□ ところ
で □ こうつうきかん
が
□ したら。

④
ふくそう
□ の □ みだれ
を □ ととのえる
。

⑤
ひっし
□ このままでは □ もんだい
の □ ちようきか
は
だ。

国語 六―三十 (書き)	第六学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日					
がつ					
日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① げつめんとんさき の うち あげ けいかく を

する。

② かたほう まど しめる の を

③ すいぶん じょうはつ ふせぐ の を ため、ふたを

とじる。

④ ジャムを ほぞん する みつぺいようき を さがす。

⑤ ねだん たかい かが、 それに みあう ちの ある しょうひん だ。

国語 六―三十一 (書き)	第六学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

つぎ ぶん
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
おく
送りがなにもきをつけましょう。

① りんじれつしや の じょうしやけん を かう。

② おんだん な きこう の とち で くらす。

③ あたたかい ので うわぎ は ひつよう ない。

④ あつい きせつ は しょくよく が なく なる。

⑤ ちず の しゆくしやく を しちべる。

国語 六十三 (書き)	第六学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

つぎ ぶん
次の文の □ に 当てはまる 漢字 を 書き しましょう。
おく
送りが ない にも 気 を つけ ましょう。

①
どうろ
の
かくちようこうじ
を
しき
する。

②
せんとう
の
かんばん
を
あたらしく
する。

③
つうやく
の
しごと
に
てんしよく
しよう と
はら
を

きめる
。

④
てんらんかい
が
ちゅうし
になつた
わけ
を
せつめい
する。

⑤
ラーメンの
おおもり
を
たべ
て
まんぷく
になつた。

国語 六―三十三 (書き)	第六がく年の漢字(書き)	名前	年	組	ばん
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りが^{おく}なにも^き気をつけましょう。

① □^{てき}ながら、□^{みごと}な□^{たたかいかた}に□^{した}を

□^{まく}。

② □^{いちよう}の□^{ちようし}が□^{よい}。

③ かれの□^{あいぼう}は□^{しよくむ}に□^{ちゆうじつ}だ。

④ うず□^{しお}が□^{いちばん}□^{おおきく}□^{みえる}のは
□^{まんちよう}の□^{とき}だそうだ。

⑤ □^{さくし}の□^{べんきよう}をするために
□^{せんもんがっこう}に□^{かよう}。

国語 六―三十四 (かき)	第六学年の漢字 (かき)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにもきをつけましょう。

① □ が □ の □ の □ を □
かんしゅう どひょう うえ りきし ちゅうし
する。

② オリンピックの □ リレーが □
はじまる せい か

③ □ すいな □ を □ ない。
じゅん きもち わすれ

④ 「 □ は □ 」 という □ がある。
い じんじゅつ かくげん

⑤ □ が □ を □ とかつぐ。
のうぶ こめだわら かるがる

国語 六―三十五 (書き)	第六学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
とり組んだ日 月 日					

つぎ ぶん 次**の**文の□に**あ**てはまる漢字**かんじ**を書きま**か**しょう。
おく 送り**が**なにも**き**をつけま**し**ょう。

① おおく の こくもつ を かいがい から ゆにゆう する。

② ふじゅんぶつ を とり のぞく 。

③ かしん を したがえ て で かける。

④ じんたい に ゆうがい な ぶっしつ を じよぎよ する。

⑤ ぬの を さいだん して ようぶく を つくる 。

⑥ ほうりつ で ちやく 。